

平成27年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 1-2

局・課名： 健康福祉局・高齢施策推進課

事業名	緊急通報システム(一般会計)	事業費(千円)	平成25年度決算額 20,508	平成26年度予算額 26,308	平成27年度要求額 26,236	
		債務負担行為	期間 H ~ H	要求額(千円)		
事業概要	【目的】 ひとり暮らし高齢者等に緊急事態が発生した場合に迅速かつ適切な対応を行うことを目的に、高齢者宅に緊急通報装置を設置して消防との連携を図り、安心して暮らせる生活の確保を行う。	主要要求内容 (単位:千円)				
	【内容】 高齢者宅に緊急通報装置を設置し、緊急ボタン(消防が通報先)や相談ボタン(委託業者が通報先)を押した際に、迅速かつ適切な対応を行う。 (対象者) ①おおむね65歳以上の病弱等の一人暮らし高齢者、又は高齢者のみの世帯の方。 ②昼間または夜間に独居(同居家族が就労・就学等のために日中または夜間の大半において不在)となるおおむね65歳以上の病弱等高齢者。 ※利用にあたっては、2名の近隣協力員を登録する必要があるが、協力員がいない場合は、委託業者が自宅の鍵を預かることにより、協力員の役割を担う。 (委託内容) 装置の保守(取り付け、メンテナンス、取り外し)、24時間365日の健康相談、緊急時の警備員の出勤等。	項目	26年度予算	27年度要求額	内容・積算等	
		委託料	9,974	10,351	保守管理業務等委託料	
		備品購入費	13,067	15,372		
		光回線等対応費用	2,754	0		
		その他	513	513		
		合計	26,308	26,236		
	【今年度要求のポイント】 従来、緊急通報システムにて使用できる回線は、NTTアナログ回線またはソフトバンクテレコムおとくラインのみと限定していたが、システム改修を行い、平成27年1月よりその他の光回線・KDDI・J-com等でも利用可能となるため、新規申請者は増加することが見込まれる。そのための経費を要求する。	スケジュール(経過及び今後展開)				
		【経過(～26年度)】 利用可能な電話回線の拡充に伴い、新規利用者が増加	【27年度】 事業の継続実施	【今後予定(28年度～)】 事業の継続実施		
		その他 特記事項 みんなの審査会対象事業(平成25年度) 関連事業 緊急通報システム(介護保険事業特別会計)26,172千円				